

忠岡町 橋梁長寿命化修繕計画

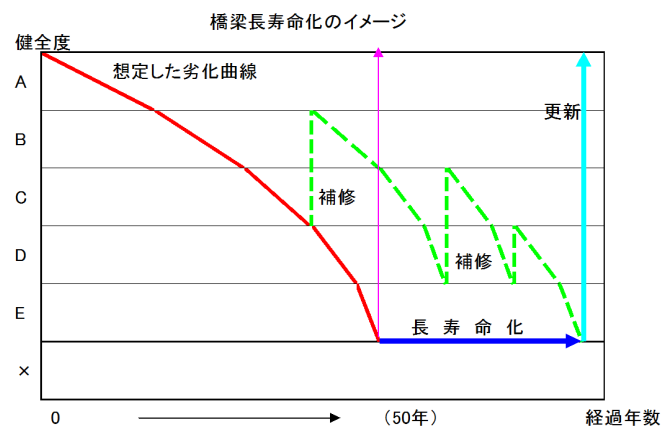
忠岡町が管理する橋梁について、長寿命化修繕計画を策定いたしました。

橋梁長寿命化修繕計画の内容

橋梁は長い年月の間、人や自動車の荷重を受け続けます（外力による劣化・損傷）。また、コンクリートや鉄の塗装なども永久ではなく、自然に劣化してゆくものです（経年劣化）。道路管理者が行う維持管理では、これらの劣化や損傷を、できるだけ未然に防ぐと同時に、維持管理にかかるコストを引き下げることが要求されます。

現在では、多くの研究から修繕などの対策は、劣化や損傷の進行が早い段階で行うことが効果的で、かつ経済的であるということが分かっています。これは、人の健康管理に非常によく似ています。このため、“悪くなってから治す”という待ちの姿勢ではなく、橋梁を点検し、劣化や損傷の原因を内在している時点から発見し、予防的措置をとることが、維持管理のコストを引き下げるだけでなく、災害や事故を未然に防ぐことにもつながります。

そこで、橋梁の点検や補修の時期などについて方針を定めたものが橋梁長寿命化修繕計画です。



長寿命化修繕計画の目的

忠岡町は、平成24年現在3橋の主要道路橋を管理しています。これらの橋梁の老朽化に対応するため、計画的かつ予防的な修繕へと転換し橋梁の長寿命化を図り維持更新費用の縮減と平準化を行うことを目的とします。

楯並橋 (132.00m)	中板橋(54.60m)	高板橋(45.42m)

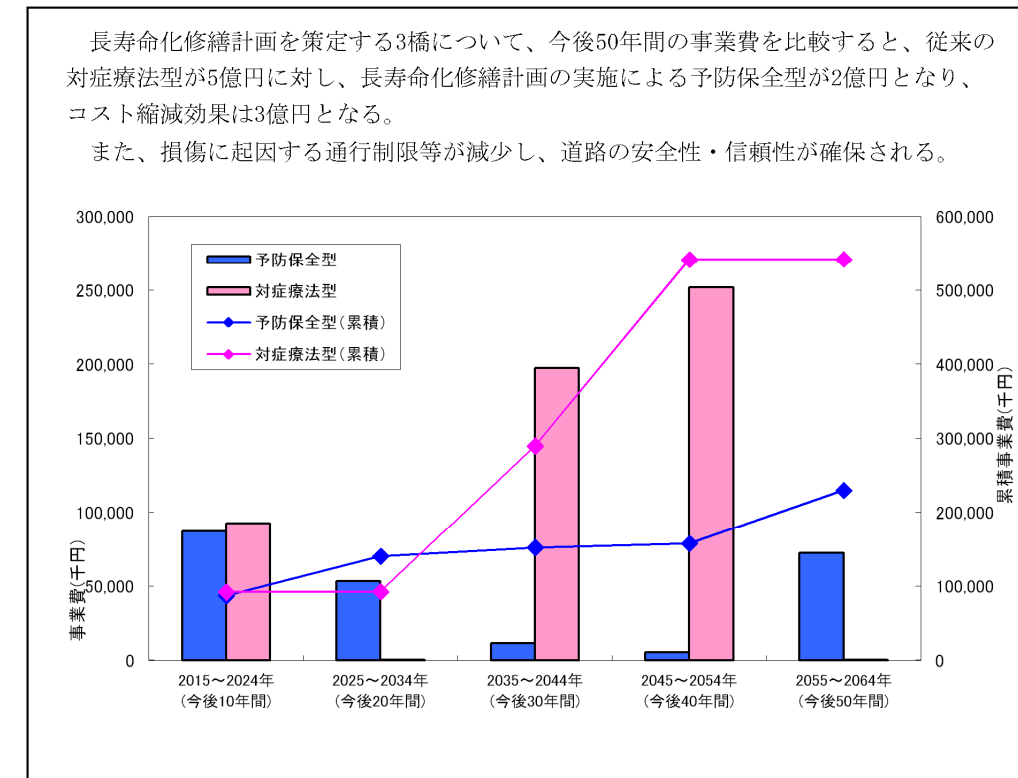
長寿命化修繕計画の対象とする橋梁

忠岡町では、下記の選定根拠から主要な橋梁3橋について長寿命化修繕計画を策定しました。

- ①橋長が15m以上で落橋時に緊急的な復旧が困難な橋梁
- ②分断されると孤立化する住戸間を結ぶ路線に位置する橋梁
- ③町役場など重要な機関にアクセスする路線にある橋梁

長寿命化修繕計画による効果

- 計画的かつ予防的な修繕を行うことにより、維持更新費用を縮減できます。
- 年度ごとの維持更新費用を平準化することができます。



対症療法型：約5億円

↑↓

予防保全型：約2億円

今後50年間で、約3億円の維持更新費用の縮減が期待できます。

意見聴取した学識経験者

立命館大学総合理工学院理工学部

都市システム工学科

野阪克義 准教授